

INFO SQUARE+ インフォ・スクエアプラス

SECRET OF IMPUL NOTE

インパル ノート 製作現場探訪記

“インパルススペシャル”が 大ヒット！ 高い完成度の 秘密は実はここにあった!!

■取材協力：ホシノインパル Tel.03-3439-1122
■ホームページ：http://www.impul.co.jp/

東京世田谷の“インパル”ショールームに併設されたファクトリー。ここが日本全国の販売店で注文された『インパルノート』の生まれ故郷である。その高いクオリティは、実は専属メカによる妥協なき手作業が支えているのだ。



03
Professional

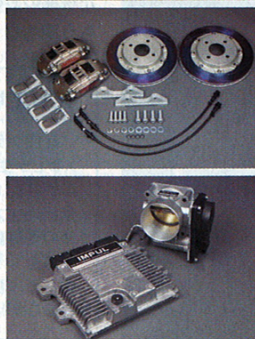
各種パーツの装着まで インパルクオリティ

「日本一速い男」と呼ばれた星野一義氏率いるインパルは、レーシングチームとして国内最高峰のレースカテゴリーを戦う一方で、日産の市販車をベースとするコンプリートカーや各種チューニングパーツを手がけている。そんなホシノインパルの最近のスマッシュヒットが、市販車のほうも販売絶好調のノート。ところで、インパルのパーツは、今では日産の販売店でも選ぶことができる。そのため、販



▲ショールームに併設のファクトリーにて作業が行われる。奥が広く、2台分のリフトを設置。最近ではノートだけで月に25～30台が入庫するというから、その人気ぶりがよくわかる

売店がインパルのパーツを取り寄せて、その販売店のメカニックが作業すると思っている人がいるようなのだが、実はそれは

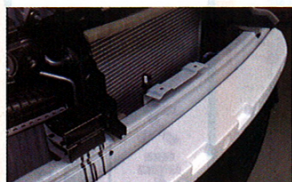


▲イメージを一変させる「エアロダイナミクスシステム」は、フロントバンパーボイラー、フロントグリル、サイドステップ、リアハーフスポイラー、リアウイングの5点キット(24万1500円)。それぞれ単品でも購入も可能だ。さらにオプションとしてエアロサイドバイザー、スポーツダクト、イルミネーションエンブレムが用意されている。
▲走行性能を高める機能部品については、ハイパワーコントロールユニット(15万5400円)、パワースロットルバルブ(11万3400円)、ブラストマフラー(6万3000円)のほか、ブレーキパッド、コイルスプリング、インパルオーリンズシヨック、インパルブレーキシステム、アルミホイールなどをラインアップ(一部は2WD車専用/純正パーツ下取り時は価格が異なる場合がある)



エアロ装着にも「プロ」のワザが！

細部までこだわってメイクを施す



▲ノーマルバンパーやグリルを外すと、当たり前だが、見えなかった部分の大半がボディカラーと同色もしくは未塗装のままとなっている



▲開口部の広いインパルグリルを装着すると、奥が見えてしまうので、その部分を丁寧に黒く塗装。装着時の「引き締まり感」へのこだわりだ

専属メカのハンドメイドなのだ



▲フロントバンパーはフルで交換するタイプ。FRP製で重くはないが、一体成型でかなり大きなパーツなので、ふたりがかりで丁寧に作業する



▲フロントはグリル部とバンパー部に分かれている。グリルにイルミネーションエンブレムを装着する時は、電源の配線処理も行う

丁寧な処理が装着精度を向上



▲ノーマルはバンパーに合わせて下端までアンダーカバーが伸びている。下側には、バンパーを固定するクリップを挿す穴が開いている



▲インパルバンパーは下部がフロア側に回り込んだ形状なので、アンダーカバーをそれに合わせて丁寧にカット。ノーマルの穴を活かして固定

大きな誤解。新車の状態でインパルに持ち込まれ、そこでパーツを装着してから販売店に車両を搬送、ユーザーに納車されている。そこで今回は、その装着作業が行われているインパルのファクトリーを見学させていた

インパルでは、すでに何台ものノートを手がけたメカニックが常駐している。ノートの人気を受けて最近ではもっぱら、専任状態。パーツ同士の合わせ精度など、作業のツボを心得ているメカニックが1台1台を仕上げていくので、装着クオリティがおのずと高くなるワケだ。販売店で不慣れたメカニックが作業すると、こうはいかない。

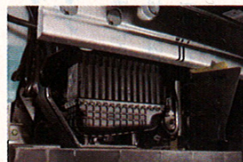
そもそもインパルの商品は非常にクオリティが高い。FRP製パーツというのは、材料や製作にどのくらいコストをかけるかによって完成度がまったく違ってくる。インパルのエアロパーツは、そこが他の低価格なエアロパーツとまったく違うのだ。

エアロパーツのデザインは、車種を問わずインパルの主要メンバーが一堂に顔を合わせ、何度もミーティングを繰り返した上で決定される。これには星野氏も参加しており、インパルノートにも少なからず星野氏の意見が反映されている。インパル

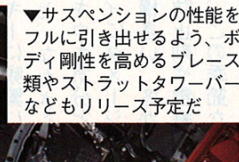
冷却効率&ボディ剛性アップの“秘策”も着々と開発進行中!

Coming Soon!

インパルではこれから、「ノートの楽しさをもっと味わいたい!」というユーザーに向けた新製品を、鋭意開発していくという。たとえばブラストIIマフラー以外にも、もう1種類新しい仕様のエキゾーストシステムをリリース予定だ。さらに、冷却効率を高めるためのアイテムや、ボディ剛性を強化するブレース類なども、順次発売が予定されている。エコカーとしての“高性能ぶり”が魅力のノートに、毎日使えるコンパクトスポーツとしての走りの魅力が加われば、まさに鬼に金棒かも!



▲バンパーからインタークーラーにかけて走行風を導き、より吸気温度を下げて効率よくパワーを引き出すためのダクトを開発中



▼サスペンションの性能をフルに引き出せるよう、ボディ剛性を高めるブレース類やストラットタワーバーなどもリリース予定だ



▲ブラストIIマフラーは、テールピースを交換するタイプ。ノーマルよりもパイプが太く、フランジが丸められていて見た目にも上質だ



◀▲乗り心地を悪化させることなく適度なローダウンを実現するコイルスプリングも大人気のアイテム。ノートでは前25mm、後30mmダウンとなる

コースコンパクトの動向を受けて、誰の目にもインパクトのある、アグレッシブなデザインを積極的に採り入れているのが特徴だ。足まわりのセッティングについても、インパルというレーシングのイメージが強いが、方向性はむしろ逆。サーキットではなく、一般道をいかに楽しく快適に走れるか、をテーマに開発されている。もちろんこちらも星野氏が綿密にテストドライブ

して太鼓判を押したものだ。製品の品質はもちろん、装着精度までこだわり抜いたインパルノート。その高い完成度には、ちゃんと理由があるのだ!